

|                 |    |     |    |       |
|-----------------|----|-----|----|-------|
| 看護学部／看護学科・助産コース | 職名 | 准教授 | 氏名 | 早瀬 麻子 |
|-----------------|----|-----|----|-------|

## 1. 教員紹介・主な研究分野

助産師として大阪医科薬科大学病院、国立循環器病院研究センター周産期病棟で勤務。ネパールやバングラデシュなどで NPO 医療チームでの母子保健活動に参加。大阪大学大学院医学系研究科に進学し、博士（保健学）の学位取得。また、2011 年、東日本大震災をきっかけに災害医療に携わり、福岡、佐賀、長野、広島、石川などに災害医療チーム派遣。現在は災害派遣の経験をもとに、講演活動や助産師を対象とした災害時対応能力スキルアップ研修を実施し、研修プログラムの開発の研究に取り組んでいます。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

- ・ 伊藤里佳、南里玲葵、高崎弘子、早瀬麻子、災害時の参集意識に影響する要因 ―福祉避難所に指定されている施設職員を対象として、Journal of Inclusive Education, 14 : 1-13,2025
- ・ 安居幸一郎、植村小夜子、漆葉成彦、小澤一史、田尻后子、坪山直生、浜崎優子、藪下八重、阿部あかね、鬼頭泰子、清水奈穂美、白井はる奈、田野中恭子、長谷川由香、濱吉美穂、赤沢真世、阿部慈美、岡田朱民、高岡寿江、早瀬麻子、緒方靖恵、山本真子、With コロナ時代の看護学生に対する VR(仮想現実)臨床実習法の開発およびキャリアデザインの同行調査とその支援、佛教大学総合研究所共同研究成果報告論文集』13 号,全 123 ページ,2025
- ・ 濱吉美穂、浜崎優子、阿部慈美、岡田朱民、早瀬麻子、植村小夜子、田野中恭子、緒方靖恵、高岡寿江、安居幸一郎、AR シミュレーターを用いた認知症患者に対するコミュニケーション技術演習の学習効果の検討、日本看護学教育学会誌, 34 (2) : 35-46, 2024
- ・ 早瀬麻子、妊娠合併症妊婦における生体リズムとストレス～マタニティヨガによる自律神経系へのアプローチ～、大阪大学医学系研究科博士論文, 2024

### ②その他最近の業績

#### <学会発表>

- ・ 早瀬麻子、土屋さやか、伊藤里佳、江藤宏美、日本語版災害リテラシー尺度の開発と信頼性・妥当性の検討、日本災害看護学会第 27 回年次大会,2025
- ・ Rika Ito, Tamaki Nanri, Hiroko Takasaki, Mako Hayase, Factors Influencing Onsite Attendance Attitudes during Disasters. World Association for Disaster and Emergency Medicine,2025
- ・ 土屋さやか、ブラウン美由紀、早瀬麻子、藤田和佳子、日本国内の外国人母子援助に関わる看護職の Cultural Competence についての文献検討、第 65 回日本母性衛生学会学術集会,2024
- ・ ブラウン美由紀、土屋さやか、早瀬麻子、藤田和佳子、助産師による「外国の方向けの退院時チェックリスト」の効果的な使用方法に関する質的分析、第 64 回日本母性衛生学会学術集会,2023
- ・ 早瀬麻子、南嶋里佳、江藤宏美、助産師の防災意識に影響する要因、第 28 回日本災害医学会学術集会,2023

### ③過去の主要業績

- ・ Mako hayase, Mieko Shimada. Effects of maternity yoga on the autonomic nervous system during pregnancy. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research,44(10)1887-1895,2018

- ・ Mieko Shimada, Hiroyuki Seki, Michikazu Samejima, Mako Hayase, Fumie Shirai. Salivary melatonin levels and sleep-wake rhythms in pregnant women with hypertensive and glucose metabolic disorders: A prospective analysis. BioScience Trends.10(1):34-41,2016
- ・ Mako Hayase, Mieko Shimada, Hiroyuki Seki. Sleep quality and stress in women with pregnancy-induced hypertension and gestational diabetes mellitus. Women and Birth.27(3):190-195,2014

### 3. 外部研究資金

- ・ 文部科学省科学研究費補助金（基盤研究 C）令和 5 年～令和 8 年，助産師を対象とした外国人妊産婦支援力向上プログラムの作成と評価（研究分担者）
- ・ 文部科学省科学研究費補助金（基盤研究 C）令和 8 年～令和 11 年，外国人妊産婦ケア・コンピテンシーの多面的評価法の開発と妥当性検証（研究分担者）

### 4. 受賞

2015 年 一般社団法人日本私立看護系大学協会 看護学研究奨励賞受賞

### 5. 所属学会

日本助産学会、日本助産師会、長崎県助産師会、日本看護科学学会、日本母性衛生学会、日本災害医学会、日本災害看護学会

### 6. 担当授業科目

リプロダクティブヘルス看護学・2 単位・2 年・後期，リプロダクティブヘルス看護学演習・2 単位・3 年・前期，リプロダクティブヘルス看護学実習・2 単位・3 年・後期，専門看護学ゼミ・2 単位・3 年・通年，卒業研究・2 単位・4 年・通年

母性看護学概論・1 単位・2 年・前期、母性看護方法論Ⅰ・2 単位・2 年・後期、母性看護方法論Ⅱ・1 単位・3 年・前期、母性看護学実習・2 単位・4 年・前期、統合実践看護実習・2 単位・4 年・前期、入門ゼミ・2 単位・1 年・後期、コミュニティ実習・1 単位・1 年・通年、国際看護学・1 単位・3 年・前期、国際・災害看護学演習・1 単位・3 年・前期、看護研究Ⅰ・1 単位・4 年・前期、看護研究Ⅱ・1 単位・4 年・後期

### 7. 社会貢献活動

一般社団法人長崎県助産師会 災害対策担当理事  
長崎県防災会議委員

### 8. 学外講義・講演

公益社団法人愛媛県看護協会 災害研修講師  
一般社団法人大分県助産師会 災害研修講師  
京都橘高等学校 出張講義

## 9. 附属研究所の活動等